

2018年8月1日

西宮つとがわY M C A保育園 8月えんだより

年主題 『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

年主題聖句 「愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、
わたしたちも互いに愛し合うべきです。」
＜ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節＞

7月は大雨に始まり後半は酷暑に襲われ、つくづく自然の猛威、そして人間の弱さを感じた一カ月となりました。6月の地震といい、7月の異常ともいえる気候といい、天災はもはや遠いものでなくあり得ることとして備えを怠らないようにと強く思いました。日常の保育も、「昨年度はこうしていたから今年もこうしよう」と安易に考えず、この夏の暑さにあった活動、今の子どもたちの様子に望ましい活動を、その時の状況に応じて考えていくことが必要とされていると深く感じます。

テレビゲームのCMで「できないことができるって最高だ」といって、人がロケットパンチを出したり、怪獣を倒したりする映像が流れていますが、昔の人が今の暮らしを見ても同じような思いを持つのではと思います。暑ければクーラーを入れて過ごし、雨が降っても車があればどこへでも出かけ、知りたいことがあればPADやスマートフォンで調べ、わからないこともできないこともおおよそないような暮らしを私たちは当たり前のように享受しています。でも、そんな私たちも、ひとたび想定してないような雨や日照りになれば、恐れや不安、思いもよらぬことですぐに混乱や慌ててしまうような弱さを露呈してしまいます。

ちょうど大雨と猛暑の合間にすみれ・ゆりキャンプに行くことができました。子どもにとっては普段当たり前な明るい電気、おうちの食事、そして家族がいない中、ちょっとした不安とたくさんの荷物を抱えて六甲山YMCAに出かけました。子どもたち一人ひとりとは様々なことを経験し感じた2日間だったと思いますが、思い通りにならない葛藤や未知なことへの不安を感じて涙を見せるお友だちもいました。しかし、そんなときに目の前にいる友だちや先生が寄り添うことで、不安を払いのけ気持ちを切り替えることができる様子を見ることができました。見えないものを恐れる経験とその中でも見えるつながりの中で気持ちを乗り越えられたことは、子どもたちにとって大きな学びであると感じています。保育園というつながりの中で「生かされている」ことへの恐れと感謝を感じることが、これから先の未知の問題に立ち向かっていく「生きる力」を養うことになると感じた時となりました。

8月の聖句 「安心なさい。わたしだ。恐れることはない」
＜マルコによる福音書 6章50節＞

8月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	たのしむ	たのしむ
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 水・土・砂に触れて遊ぶ。 * 夏の遊びを楽しむ。 * 夏の生活をゆったりと健康に過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> * 遊びたい友達や、やりたいことがはっきりして、遊びが続くようになる。 * 土・砂・水に親しみ、夏の遊びを楽しむ。 * 遊びの中で考えたり試したりする楽しさを体験する。 * 健康に過ごすための生活習慣を身につける。
讃美歌	主イエスのみちを	